

**小学校第3学年の学級活動**  
**「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」における**  
**話し合い活動を取り入れた事例集**



# 小学校第3学年の学級活動「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」における話し合い活動を取り入れた事例集について

## 1 はじめに

小学校学習指導要領解説には、学級活動で育てたい資質や能力の一つとして「自主的、実践的な態度を育てる」ことが掲げられ、それについて「自己の生き方について考えを深める自主的実践的な態度」と示されています。

学級活動(2)の実践は個々に応じて実践されることから、自ら自己の生き方について考えを深めるために、解説には、「できるだけ児童による自主的な話し合い活動を取り入れ、問題を解決するよう配慮することが望ましい」とあります。このことから、学級活動(2)は、教師が意図的、計画的に指導することに加えて、友達の考えを聞きながら自己決定へつなげる話し合い活動を取り入れることで、児童の自主的、実践的な態度を育てることができます。

そこで、学級活動(2)において話し合い活動を取り入れた事例集を作成しました。題材ごとの活動内容では、話し合い活動の取り入れ方を記載した他に教師からの発問、児童の反応なども記載した活動内容となっています。

児童の実態に応じて本事例集をご活用ください。

## 2 もくじ

- (1) 第3学年学級活動(2)年間指導計画
- (2) 学級活動(2)の特質について
- (3) 小学校第3学年の発達の段階を踏まえた集団思考を生かした話し合い活動
- (4) 集団思考を生かした話し合い活動①②
- (5) 活動内容
- (6) 学習指導案
- (7) 教師の発問、児童の反応
- (8) アンケート
- (9) ワークシート

## 3 活用内容

本事例集には、話し合い活動を取り入れた(共通事項)アからキにおける活動内容を記載しました。詳細はについては、別頁を参照してください。

## 第3学年 学級活動（2）の年間指導計画

月	題材	指導のねらい	中心に見とる 観点		目指す児童の姿	学校行事
			課題	活動		
4	3年生になって ア	・3年生はどんな学年であるか理解し、その役割や責任に気付き、めあてをもって生活できるようにする。	○		・3年生としてどのような学校生活を過ごしたらよいか、具体的なめあてを考え、実行しようとする思いを高めている。	始業式
5	本のならび方 オ	・自分の力で本を探したいという思いから、本が内容ごとに分類されて配置されていることを理解する。		○	・学校図書館の本が、内容ごとに分類されている説明を聞き、学校図書館の利用の仕方を理解する。	達足
6	すきらしない で食べようキ	・健康な体を作るためには、三つの基礎食品があることを理解し、好き嫌いすることなくバランスよく食べようとする態度を育てる。		○	・健康に成長するためには、食品の三つの働きがあることを理解し、バランスよく食べ物を食べようとしている。	学校給食
7	夏休みに向けて イ	・1学期の反省をし、夏休みを有意義に過ごすための計画を立てることができるようする。		○	・1学期の反省をもとに、自分にあった具体的なめあてや計画表を作成している。	終業式
9	自分たちの運動 会をつくろう ア	・運動会の意義やねらいを理解し、運動会に向けてめあてを考え、主体的に参加しようとする態度を育てる。		○	・運動会に向けて自分のめあてを考え、自分たちでつくる運動会にしようとしている。	始業式 運動会
9	災害に向けて カ	・災害に対して、自ら危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を身に付けることができるようする。		○	・災害に対応して備える必要な事柄や安全な行動の仕方について理解している。	避難訓練
10	気持ちのよいあ いさつ イ	・自分のあいさつの様子を振り返り、進んであいさつをしようとする態度を育てる。		○	・進んであいさつができない理由について話し合い、相手に伝わる気持ちのよいあいさつを考え実践している。	
11	たがいのよさの 発見 ウ	・互いの考えが違った場面をもとに、違いを認め、友達と仲良く過ごそうとする態度を育てる。		○	・互いの考えの違いについて話し合い、考えの違いを認め、友達と仲良く過ごそうとしている。	なかよし集会
12	冬休みに向けて イ	・冬休みを有意義に過ごすための計画を立てることができるようする。		○	・昨年の冬休みを振り返り、自分にあった具体的なめあてや計画表を作成している。	終業式
1	かぜの予防 カ	・自分の生活習慣を振り返り、かぜの原因を探りかぜの予防に毎日、取り組もうとする態度を育てる。		○	・かぜの原因やかぜの予防について考え、かぜを予防するためのめあてを決め、実践している。	始業式
2	わたしたちにで きること 工	・働くことの意義を考えるとともに、学校全体のことを考えて活動しようという意識を高める。		○	・ボランティア活動に向けて、自分の役割を果たすための目標や具体的な活動内容を考え、学校のために働こうと実践している。	思い出づくり (縦割り遊び)
3	4年生に向けて ア	・一年間の成長をの喜びを味わい、希望や目標をもって、4年生へと進級する意欲を高める。		○	・この一年間で、できるようになったことを振り返り、4年生に向けてさらに成長しようとしている。	6年生を送る会 卒業式 終了式

## 学級活動(2)の特質について

集団思考を生かしてた話し合い活動を通して、個人目標を自己決定し、個人として努力し、目標の実現を目指す自主的、実践的な態度を育てること



## 小学校第3学年の発達の段階を踏まえた集団思考を生かした話し合い活動

日常の生活や学習における共通の問題について互いに考え方や思いを伝え合い、友達の知識や経験から自分の知識や経験を進展させ、思考を深めることができる話し合い活動

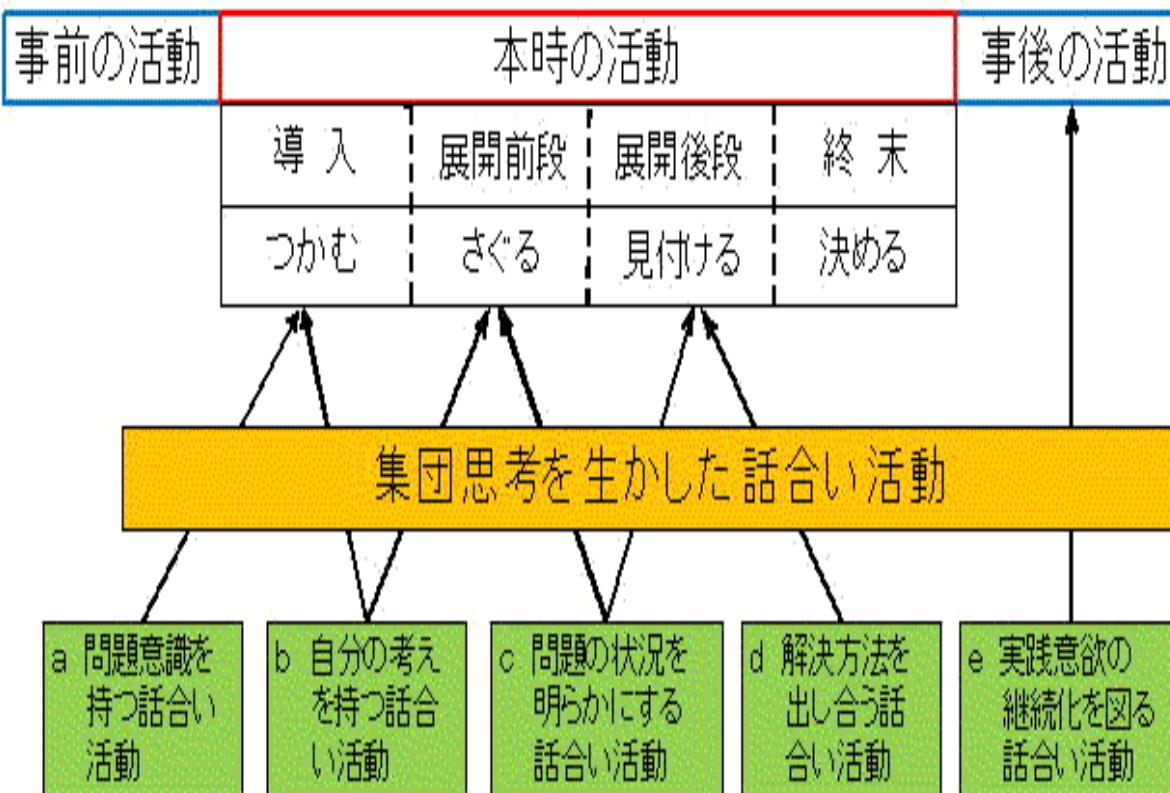


# 集団思考を生かした話し合い活動①

## 「本時の活動」

- a 問題意識を持つ話し合い活動
- b 自分の考えを持つ話し合い活動
- c 問題の状況を明らかにする話し合い活動
- d 解決方法を出し合う話し合い活動
- e 実践意欲の継続化を図る話し合い活動

## 「事後の活動」



この図のように「本時の活動」と「事後の活動」において、  
集団思考を生かした話し合い活動を取り入れます。

# 集団思考を生かした話し合い活動②

学級活動(2)における集団思考を生かした話し合い活動についてまとめました。

「本時の活動」「事後の活動」において、児童の考えが引き出せるような集団思考を生かした話し合い活動を取り入れて指導を行います。



## ＜話し合い活動の説明＞

### 話し合い活動の種類

児童の活動

話し合い活動

児童の気付き

教師からの手立て

### 問題意識を持つ話し合い活動

「本時の活動」  
「つかむ」

- 自分の生活に課題があることに自ら気付き、「何とかしたい」という思いをもつ話し合い活動

アンケート結果から気付いた事を互いに話し合う

「問題意識を持つ話し合い活動

・こんな問題があるんだ。  
・なんとかしなくちゃ

・教師からの発問(児童の現状に気付かせる)  
・資料(アンケート調査, 映像など)



## 自分の考え方を持つ話し合い活動

「本時の活動」

「つかむ」「さぐる」

- 「なぜ、課題となるのか」「どこが、改善点となるのか」「原因は、どこにあるのか」について、自分の考え方をもつ話し合い活動

「なぜ、課題となるのか」、「どこが、改善点となるのか」

「自分の考え方を持つ話し合い活動

・ここが問題なんだ。  
・ここに原因があるんだ。

•教師の話、アンケート結果などの資料



## 問題の状況を明らかにする話し合い活動

「本時の活動」

「さぐる」「見付ける」

- 問題点を明確にして互いに話し合い、児童の本音を聞くことができたり、相手の気持ちに共感したりする話し合い活動

日常の生活や学習に対する問題点が明確になったことから。

「問題の状況を明らかにする話し合い活動」

・本当は～したいなあ。  
・分からなかつたなあ。

•児童がよく経験する場面を設定する。  
•児童の本音を引き出せるような雰囲気づくり  
•養護教諭、司書教諭などの協力を得る。



## 解決方法を出し合う話し合い活動

「本時の活動」

「見付ける」

- みんなで解決方法を出し合い、自分で思い付かない、考えないような解決方法を見付けられるようにする話し合い活動

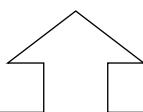
日常の生活や「学習に対する原因、改善点が理解できたことから。

「解決方法を出し合う話し合い活動」

・こんな方法があるんだ。  
・友達のやいかたもいい



- ・解決方法に向けて必要な資料を提供する。
- ・具体的な視点を与える(キーワードにするなど)ような、資料提示の工夫



## 実践意欲の継続化を図る話し合い活動

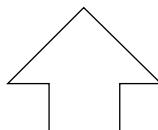
「事後の活動」

- 自己決定した個人目標の実践状況を伝え合ったり、努力の成果について振り返ったりして、互いに達成感を味わえるような話し合い活動

個人目標の実践途中、実践後から。

「実践意欲の継続化を図る話し合い活動」

・できたよ。  
・これからも続けてみよう。  
・次はがんばろう。



- ・自分が変わったところ、友達のがんばっている様子などに視点を当てて話し合うようとする。
- ・ワークシートに記入された、友達や家族からの励ましの言葉を基に話し合うようとする。
- ・目標の見直し、修正を行う。



# 活動内容

- 1 事例集の使い方
- 2 ア 希望や目標をもって生きる態度の形成  
題材「3年生になって」
- 3 イ 基本的な生活習慣の形成  
題材「気持ちのよいあいさつ」
- 4 ウ 望ましい人間関係の形成  
題材「たがいのよさの発見」
- 5 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解  
題材「わたしたちにできること」
- 6 オ 学校図書館の利用  
題材「本のならび方」
- 7 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成  
題材「かぜの予防」
- 8 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成  
題材「すききらいしないで食べよう」

# 事例集の使い方

「事前の活動」、「事後の活動」  
「本時の活動」

…朝の会、帰りの会など  
…学級活動(2)の授業

(共通事項)と題材名

「本時の活動」は「つかむ」「さぐる」「見付ける」「決める」としました。

## ウ 望ましい人間関係の形成 題材「たがいのよさの発見」

### 事前の活動

#### 問題意識をもつ



(資料)  
・友達に関するアンケート  
・ワーカーシート「えいごカード」

(指導上の留意点)  
・普段あまり関わらない友達とのよいところを、カードに記入するように勧める。  
・一人三枚は書いてもらえるように配慮する。

友達には、いいところたくさんあるんだ。

アンケート調査項目  
1. クラスの中に誰なんだ、おしゃべりしたりする友達がいますか。  
2. いつも誰なんだ、おしゃべりしたりする友達はどんな友達ですか。(複数回答)  
3. いつも誰なんいる友達がいい友達と、もっとなにかよくなりたいですか。



(資料)  
・アンケート結果を表したグラフ  
・ワーカーシート

(指導上の留意点)  
・各グループで得られた結果を共有する際には、他のグループの意見も尊重する。

いつも同じ友達とあそんでいるな。

自分の友達関係に面白さや、自分との友達関係に面白さを感じたりする。

### 本時の活動

#### つかむ (課題をつかむ)



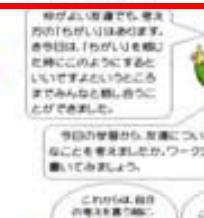
(資料)  
・友達から「えいごカード」をもらいました。そして、これは友達から見たあなたのよいところにもありますね。

(資料)  
・友達を考えている場面図、吹き出し (発表用)  
・ワーカーシート

友達の考えをたくさん聞くことができたな。  
友達は、他のいいところを見付けてくれたんだ。

自分の友達の特徴をまとめて、他の友達と一緒に共有する。  
他の友達の特徴をまとめて、他の友達と一緒に共有する。

#### さぐる (原因を追求する、解決方法を考える)



(資料)  
・ワークシート (発見の留意点)

(資料)  
・ワークシート (発見の留意点)

仲のよい友達だって考え方があまり違うこともあるな。

友達の意見を尊重する。  
自分の意見を尊重する。

#### 決める (自己決定する)



(資料)  
・ワークシート (発見の留意点)

(資料)  
・ワークシート (発見の留意点)

あまり適はなかった友達とも、話すようになったよ。  
友達のいいところたくさん見つけることができるようになったよ。

### 板書例

## 児童のつぶやき

### 板書例

「つかむ」段階では、アンケート結果や写真などを活用して、児童の問題意識を高めます。様々な資料を基に解決方法について意見を出し合い、自己決定を目指します。自己決定する際の手掛けりとして、板書は大切です。

### アンケート調査項目

この題材におけるアンケート調査項目です。「事前の活動」において、アンケート調査を行います。題材に対する児童の実態を把握します。

### 目指す児童の姿

この題材における目指す児童の姿です。指導案には、目指す児童の姿と評価方法を記載しました。

### ○話し合い活動について

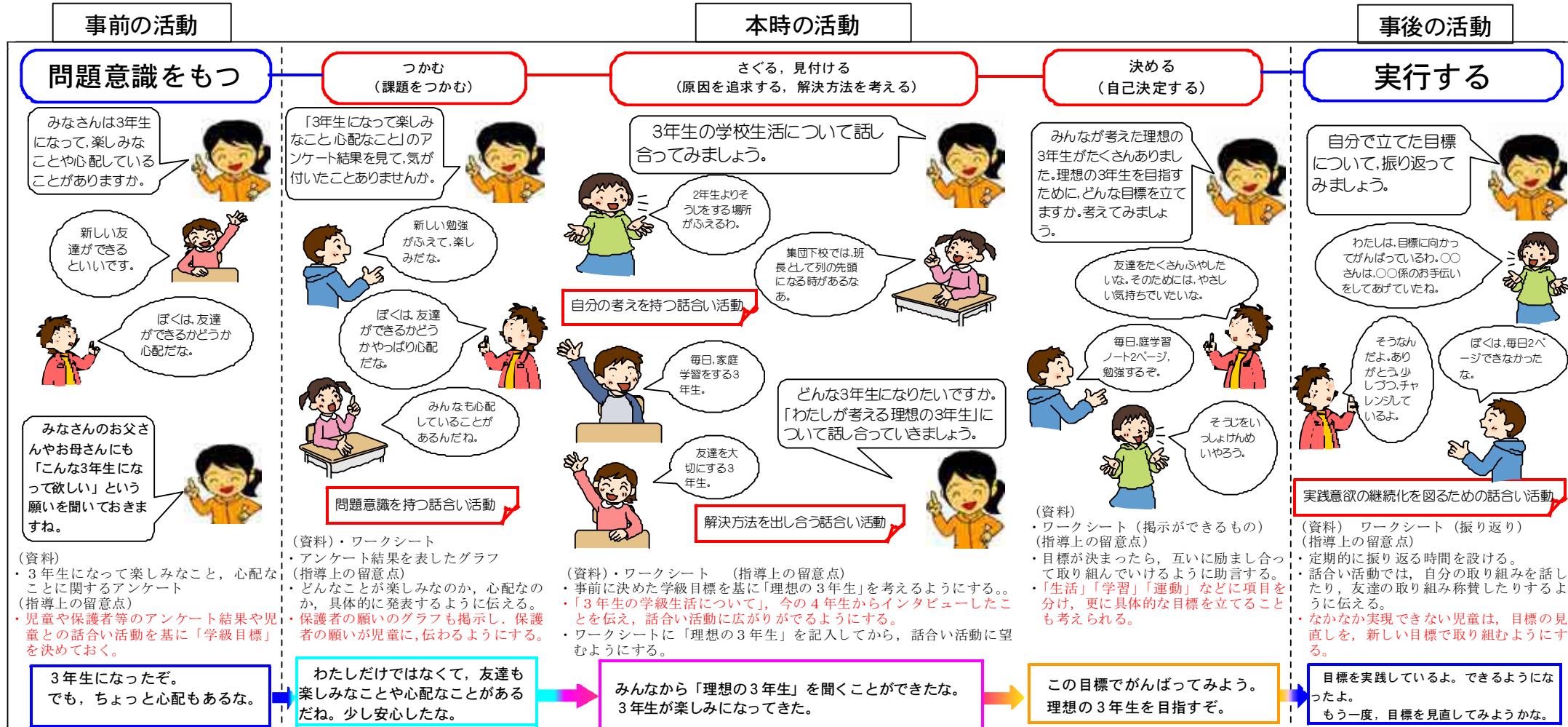
題材に適していると考える話し合い活動を取り入れました。

### ○指導上の留意点について

特に留意して欲しいことを朱書きで表しました。

## ア 希望や目標をもって生きる態度の形成

## 題材「3年生になって」



### アンケート調査項目

- 3年生になって、楽しみなことはどんなことですか。
- 3年生になって、心配なことはどんなことですか。
- どんな3年生になりたいですか。

### 目指す児童の姿

- |   |  |
|---|--|
| 集団活動や生活への関心・意欲・態度                                     | 集団の一員としての思考・判断・実践                              |
| 3年生として、どのような学校生活を過ごしたらよいか、具体的な目標を考え、実行しようとする思いを高めている。 | 理想の3年生に向けて、具体的な目標について考え、自分に合った目標を自己決定し、実践している。 |

### 集団活動や生活への知識・理解

- 3年生としてどのようないい学校生活を過ごしたらよいか、自分に合った目標を自己決定し、実践している。

### 3年生になって

#### アンケートの結果

\*棒グラフで提示する  
\*保護者の願いのアンケート結果も提示する。

#### 3年生の学校生活について考えましょう。

- 「学習」と「生活」に分けて、板書をする。
- 学級目標を基に理想の3年生について話し合う。

#### 友達の目標を聞いてみよう。

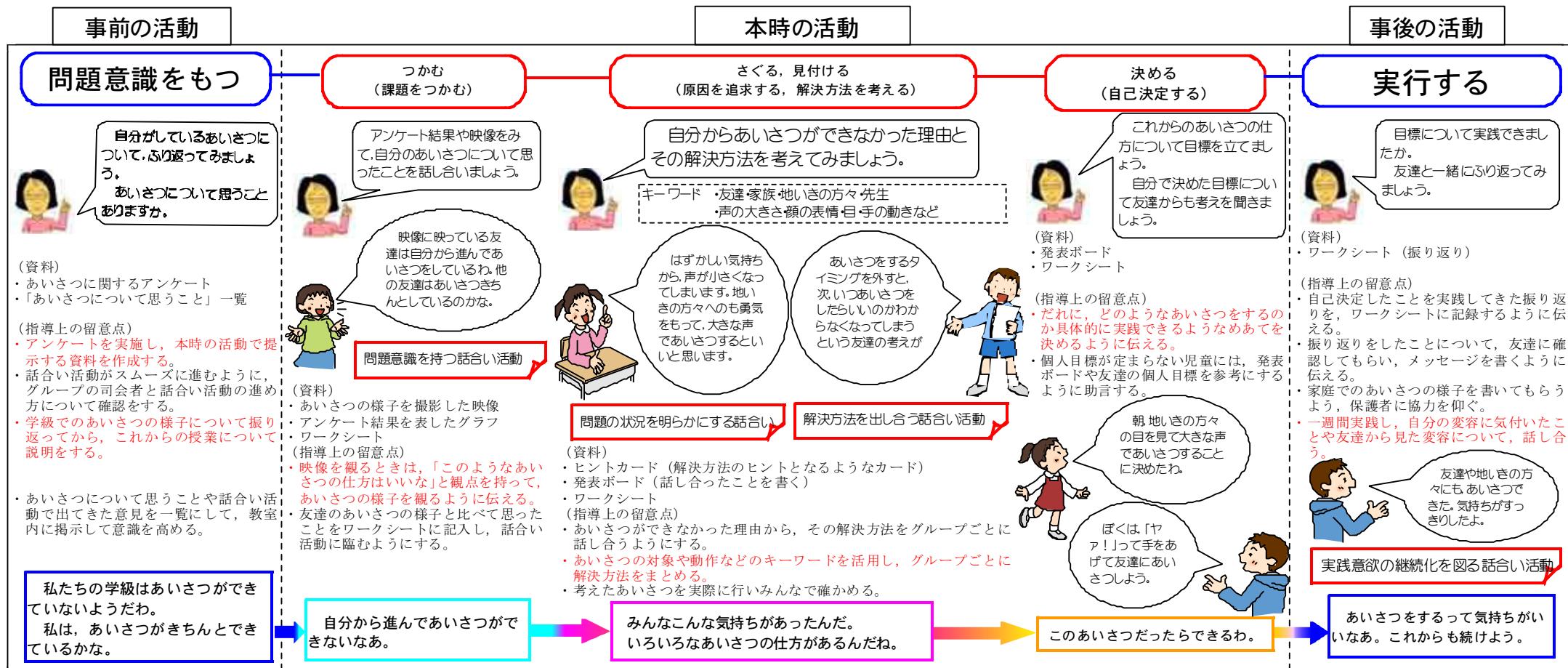
#### 自分の目標を決めよう。

- 理想を実現できそうな目標にするよう伝えれる。
- 具体的な目標となるように伝えれる。

## 板書例

# イ 基本的な生活習慣の形成

## 題材「気持ちのよいあいさつ」



アンケート調査項目

1 あいさつにしかたをふり返ってみましょう。  
 友達へのあいさつ  
 家族へのあいさつ  
 地域の方へのあいさつ  
 先生へのあいさつ  
2 あいさつするときに気を付けていること  
3 あいさつについて思うこと

目指す児童の姿		
集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
自分のあいさつの仕方に関心をもち、相手に伝わるような気持ちのよいあいさつをしようとしている。	自分からあいさつができない理由について話し合い、気持ちのよいあいさつを考え、実践している。	自分からあいさつをする気持ち、あいさつをしてもらった時の気持ちなどからあいさつのよさを理解している。

主に赤枠を評価する

**板書例**

**気持のよいあいさつ**

あいさつをふりかえってみよう。  
気持ちのよいあいさつを考えよう。

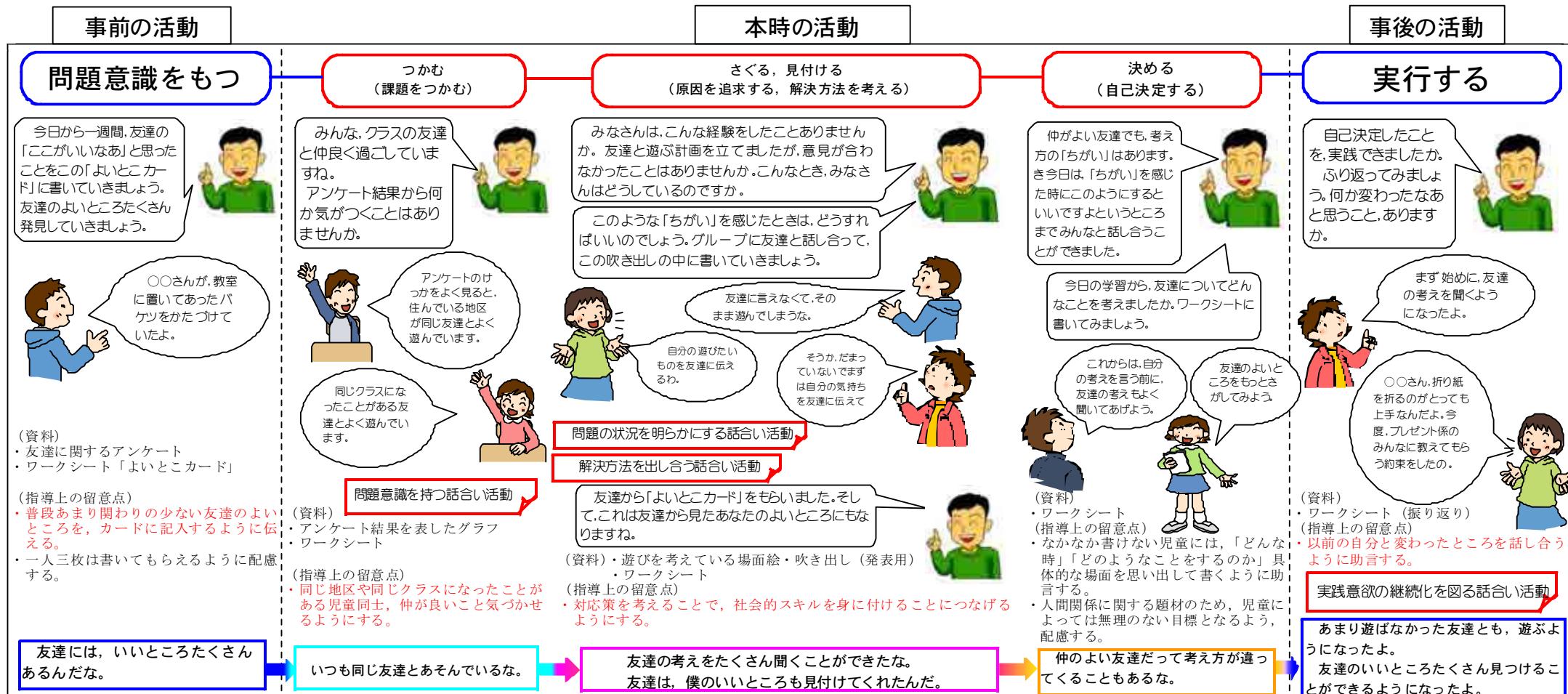
**アンケートの結果**

※棒グラフで提示する

・アンケート結果や映像からあいさつの様子を振り返る。  
・友達のあいさつ様子と比べてみる。

・グループごとにあいさつの仕方などを書いた発表ボードを持って、個人目標を立てるときに参考にする。

## ウ 望ましい人間関係の形成 題材「たがいのよさの発見」



アンケート調査項目		
1 クラスの中に遊んだり、おしゃべりしたりする友達がいますか。	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践
2 いつも遊んだり、おしゃべりしたりする友達はどんな友達ですか。(複数回答)	自分の友好関係に関心をもち、よりよい友好関係を築こうとしている。	互いの考え方の違いについて話し合い、考え方の違いを認め、友達や自分のよさについて理解している。
3 いつも遊んでいる友達がいの友達と、もっとなによくなりたいですか。		

主に赤枠を評価する

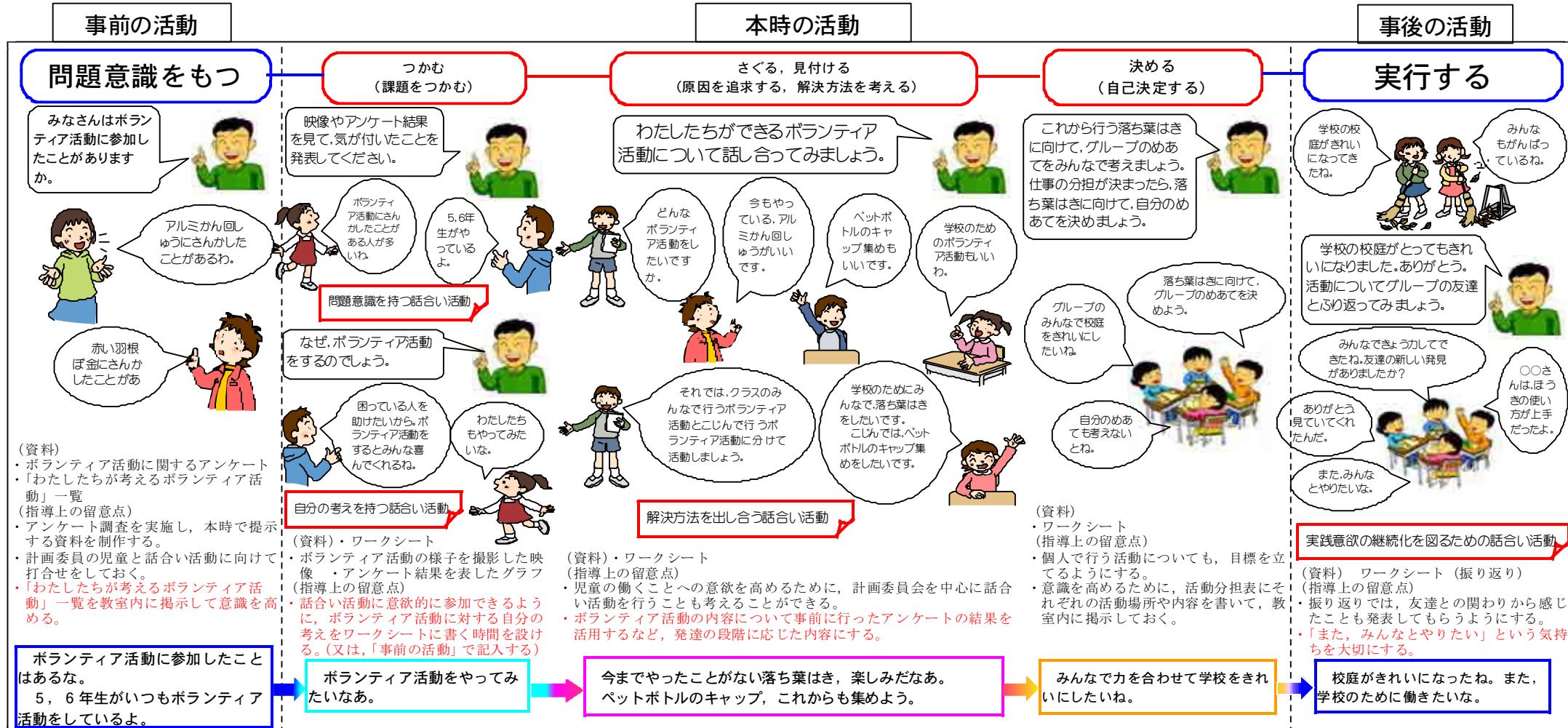
目指す児童の姿		
集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
自分の友好関係に関心をもち、よりよい友好関係を築こうとしている。	互いの考え方の違いについて話し合い、考え方の違いを認め、友達や自分のよさについて理解している。	



板書例

## エ 淸掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

## 題材「わたしたちにできること」



### アンケート調査項目

- 今までに、どんなボランティア活動にさんかしたことがありますか。さんかしたものすべてに○をつけましょう。
- わたしたちがボランティア活動を行うとしたら、校内でどんなボランティア活動ができますか。考えたボランティア活動を□に書きましょう。

目指す児童の姿		
集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
ボランティア活動に関心をもち、自分から進んでボランティア活動に取り組もうとしている。	ボランティア活動に向けて、活動に対する目標や具体的な活動内容を考え、実践している。	ボランティア活動を通して働くことの意義や学校のために貢献していることを理解している。

主に赤枠を評価する

### わたしたちにできること アンケートの結果

※棒グラフで提示する  
※ボランティア活動の様子の映像を流す。

### どんなボランティア活動ができるだろう。

- ワークシートに自分の考えを書く時間を設ける。
- 自分の考えをどんどん発表してもらう。

### 板書例

# オ 学校図書館の利用

## 題材「本のならび方」

### 事前の活動

#### 問題意識をもつ



- (資料)  
・学校図書館に関するアンケート  
・ワークシート

(指導上の留意点)  
・アンケートを実施し、本時で提示する資料を作成する。  
・司書教諭とNDC（日本十進分類法）などについて打合せをする。  
・NDC（日本十進分類法）は百の位までの説明にすることを司書教諭と確認する。

読みたい本があるときに図書館に行くなあ。

#### つかむ (課題をつかむ)

図書館を利用して困った経験はありませんか。



#### 問題意識を持つ話し合い活動

- (資料)  
・アンケート結果を表したグラフ  
・ワークシート

(指導上の留意点)  
・本の並び方等を実際に確認できるように学校図書館で授業を行う。  
・アンケート結果から同じ経験をした児童が多かったことを伝える。

すぐ本が見つからない。はやく本を見付けて読みたいな。

#### さぐる (原因を追求する)

ここからは、司書教諭の先生のお話を聞かましょ。



(司書教諭)

学校の図書館の本は、みんなが本をさがしやすいようにここにはてあるラベルごとに本が分類されてなんんでいるんです。

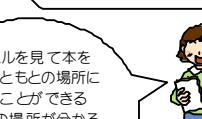


学校の図書館にはいろいろな分野の本があるんですね。

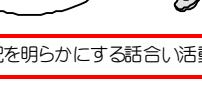
### 本時の活動

#### 見付ける (解決方法を考える)

なぜ、図書館ではこの分類法が使われて本がならんでいるのでしょうか。周りの友達と話し合ってみましょう。司書教諭の先生の気持ちになって考えてみるといいですね。



ラベルを見て本をきちんととの場所にもどすことができるわ。本の場所が分かると友達にも教えてあげることができるね。



#### 問題の状況を明らかにする話し合い活動

- (資料)  
・ワークシート  
(指導上の留意点)

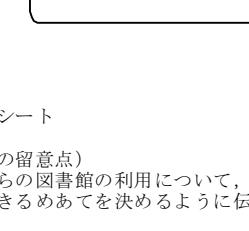
・分類法が使われている理由を本を借りる側、貸す側の立場から考える。  
・NDC（日本十進分類法）は、どこの中でも活用されていることを伝える。

本を読んだら番号を見て、きちんとともどもどそう。

いろいろな種類の本を読んでみよう。自分でも本をさがしてみよう。

#### 決める (自己決定する)

これからの図書館の利用の仕方を考えましょう。



(指導上の留意点)  
・これからの中の利用について、自分でできるめあてを決めるように伝えよう。個人目標が定まらない児童には、発表ボードや友達の個人目標を参考にするように助言する。司書教諭の気持ちを考えた、めあてでもよいことを伝える。

自分で本をさがすときは、ラベルの番号をみて本をさがしてみよう。そして本を読んだら、番号を見てもとの場所にきちんとどもどそう。

いろいろな種類の本を読むようになろう。これからも図書館を利用しよう。

### 事後の活動

#### 実行する

目標について、実践できましたか。友達と一緒に振り返ってみましょう。



実践意欲の継続化を図る話し合い活動

- (資料)  
・ワークシート (振り返り)  
(指導上の留意点)

・自己決定したことを実践してきた振り返りを、ワークシートに記録するように伝える。  
・「おすすめの一冊」を友達に紹介する活動を設け、NDC（日本十進分類法）も本と一緒に紹介することで、NDC（日本十進分類法）を意識させる。  
・二週間実践し、自分の変容に気付いたことや友達から見た変容について、話し合う。  
・学習したことと学級文庫の本の並び方に生かせるようにする。

いろいろな種類の本を読むようになった。これからも図書館を利用しよう。

### アンケート調査項目

- 1 学校図書館をどのくらいりょうしていますか。
- 2 学校図書館はどんなときりょうしていますか。
- 3 読みたい本が見つからないとき、どうしますか。
- 4 学校図書館をりょうして、こまつことがありますか。

### 目指す児童の姿

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
本には分類の仕方があることに关心をもち、分類法を活用して本を探そうとしている。	分類して本が配置されている理由について話し合い、学校図書館の利用の仕方を考え、本を借りている。	学校図書館の本は内容ごとに本が分類されていることについて理解している。

### 本のならび方

#### 分るい法 (NDC) について知ろう

- 学校図書館の利用に関するアンケートの結果
- ・グラフで提示する
  - ・利用人数、理由などについて提示する

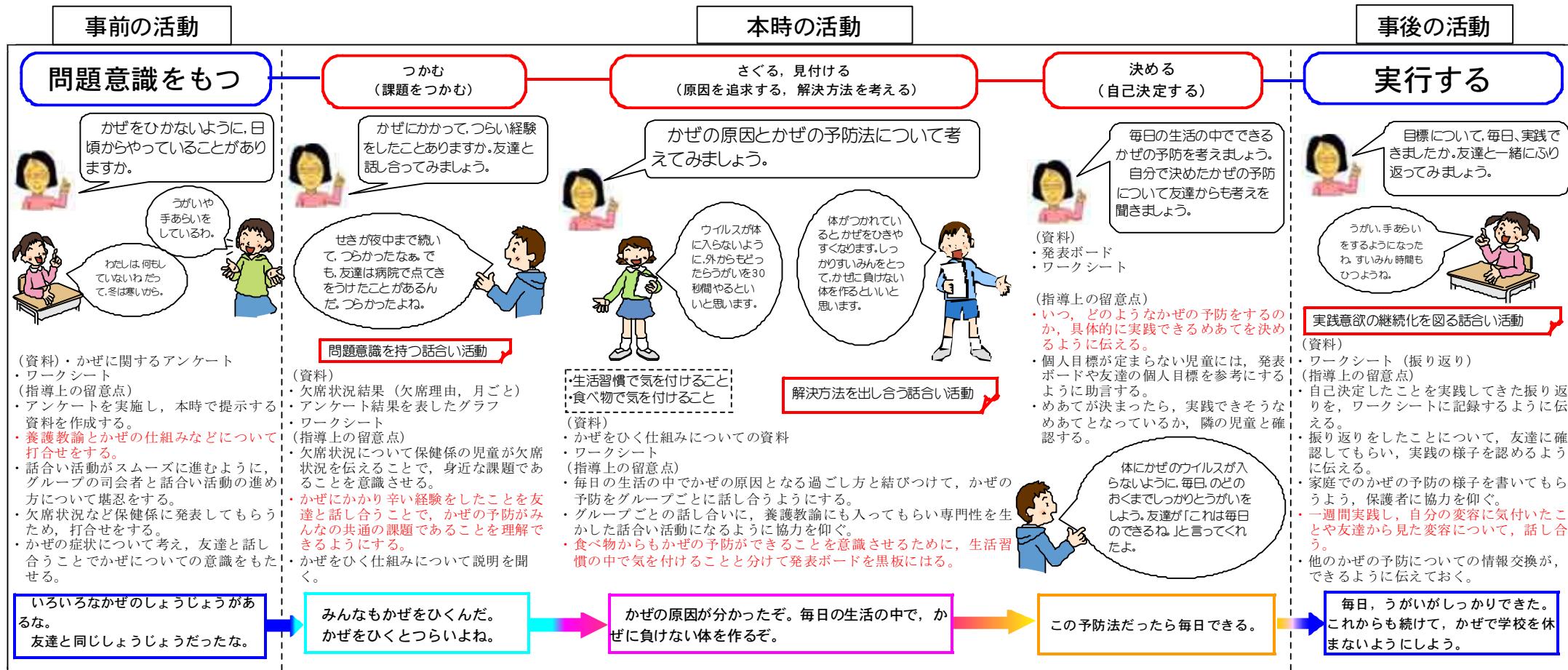
#### なぜ、分るい法 (NDC) が使われているのだろう

- ・分類法がなかったらと予想して考える。
- ・司書教諭の気持ちになって考える。
- ・NDCは、どこの中でも活用されていることを知る。

### 板書例

# 力 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

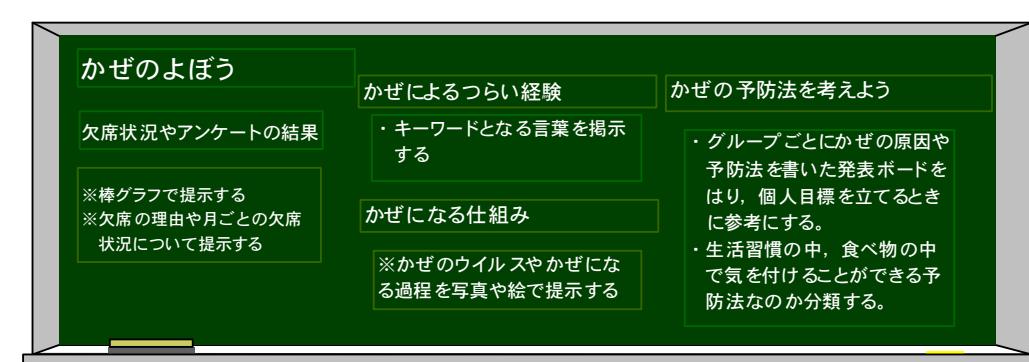
## 題材「かぜの予防」



アンケート調査項目	
1	かぜをひいて、つらかった経験はありますか。
2	かぜをひいてしまった原因として考えられるのはどんなことですか。
3	かぜにからないために、どんなことに気付けていますか。

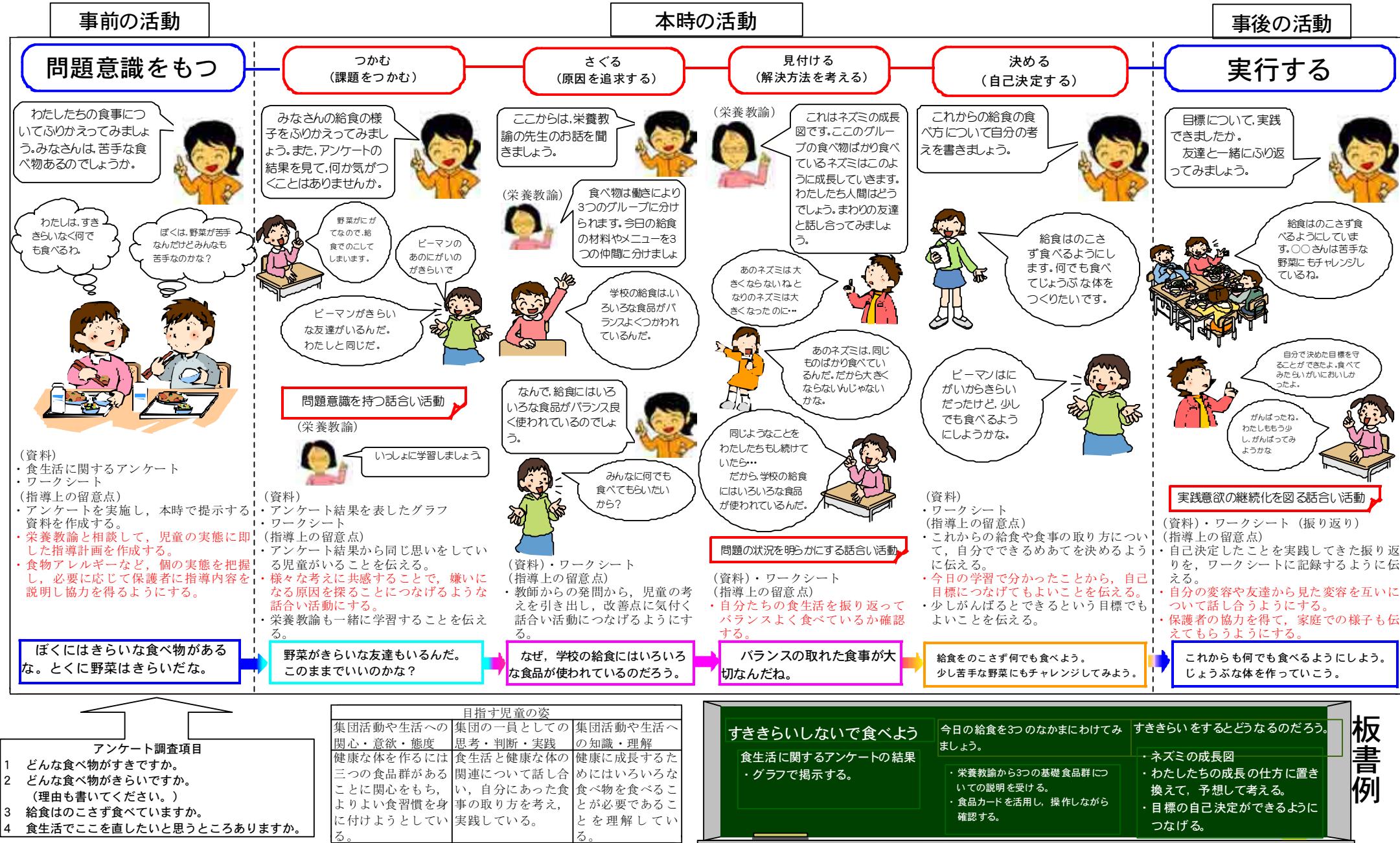
目指す児童の姿		
集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
かぜの症状やかぜにかかる原因に関心をもち、かぜを予防しようとしている。	かぜの原因やかぜの予防について考え、かぜを予防するためのめあてを決め、実践している。	かぜの原因とかぜの予防法について理解している。

主に赤枠を評価する



板書例

## キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 題材「すききらいしないで食べよう」



# 学習指導案

- 1 題材「気持ちのよいあいさつ」
- 2 題材「たがいのよさの発見」
- 3 題材「わたしたちにできること」
- 4 題材「本のならび方」
- 5 題材「かぜの予防」

### 第3学年組 学級活動(2)学習指導案

指導者

#### 1 題材 気持ちのよいあいさつ

#### 2 児童の実態と題材設定の理由

本学級では、あいさつができる児童が多い。しかし、詳しく児童の実態をみると、自分から進んであいさつができる児童がいる反面、自分から進んであいさつができない児童も見られる。また、登下校の様子からは、地域の方々へのあいさつの仕方に個人差が大きいことがうかがえる。

そこで、いつでもどんな場面でも、自ら元気にあいさつができる児童を育てたいと考える。そのために、自分のあいさつの様子を振り返り、自分から進んであいさつができない理由を考え、話し合う。また、相手に伝わるような気持ちのよいあいさつができるように友達とともに考え、めあてを自己決定する。そして、あいさつの実践を通してあいさつをするよさに気付かせたいと考え、本題材を設定した。

#### 3 学級活動(2)の評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
児童指標のすく姿	自分のあいさつの仕方に関心をもち、相手に伝わるような気持ちのよいあいさつをしようとしている。	自分からあいさつができない理由について話し合い、気持ちのよいあいさつを考え、実践している。	自分からあいさつをする喜びからあいさつのよさが分かり、あいさつの仕方を理解することができる。

#### 4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査をし、結果をまとめる。</li> <li>・あいさつが上手な児童のあいさつの様子を撮影する。</li> <li>・一人一人に、現状のあいさつを撮影する。</li> </ul>	朝の会 昼休み 昼休み 帰りの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のあいさつの仕方にについて理解できるようにする。</li> <li>・児童、保護者から撮影の許可をもらう。</li> <li>・視線、表情などが分かるように撮影する。</li> <li>・連絡帳を確認するとき、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のあいさつの仕方に 관심をもっている。 (関心・意欲・態度) 〔実態調査〕</li> </ul>

	さつの様子を伝える。 ・グループでの話し合いがあることを伝え、グループの中で司会者を決めておくように伝える。	会	あいさつの様子を書き、伝える。 ・効果的な話し合いになるよう、決まった司会者と話し合いの進め方を確認する。	・話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) 〔観察・カード〕
本時	本時の展開 ※問題意識を持つ話し合い活動 問題の状況を明らかにする話し合い活動 解決の方法を出し合う話し合い活動			
事後	・一週間、決めたことについて努力する。  ・実践してきたことを話し合う。  ※実践意欲の継続化を図る 話し合い活動	帰りの会	・「がんばりカード」に実施したことや自分が変わってきたことを記録することを伝える。 ・帰りの会で、自分の変容に気付いたことや友達から見た自分の変容について話し合う。	・自分の決めたことについて努力している。 (思考・判断・実践) 〔観察・がんばりカード〕 ・あいさつのよさを理解することができる。 (知識・理解) 〔観察・がんばりカード〕

## 5 本時の活動

### (1)本時のねらい

自分のあいさつの様子を振り返り、あいさつができない理由、解決方法を話し合うことで、気持ちのよいあいさつを考え、実践しようとする気持ちをもつことができる。

### (2)本時の展開

#### ※太字は自己決定へとつなげる話し合い活動

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法	資料	時間
つかむ	1 今までのあいさつの様子を話し合う。  (1)あいさつの様子の映像を見る。	・アンケートの結果からあいさつはできているが、自分から進んであいさつができないことがあることに気付かせる。  ・様々な場面でのあいさつを映像でみることで、現在のあいさつの様子を理解させる。  ・「このようなあいさつの仕方がいいな」と観点をもって、あいさつの様子を見るように伝える。	・自分のあいさつの仕方に関心をもっている。 ( <u>関心</u> ・意欲・態度) 〔観察・アンケート〕	・実態調査  ・あいさつをしている映像	8

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの場面で映像を止め、あいさつの仕方を確認する。</li> </ul> <p>(2)自分のあいさつの様子を振り返る。</p> <p><u>問題意識を持つ話し合い活動</u></p> <p>2 話し合うことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもてるよう時間を取り、友達に伝えたいという思いをもたせる。</li> <li>・話し合いに向けて友達に伝えることができるよう自分の考えをワークシートに書く。</li> <li>・話し合うことを黒板に書き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりカード</li> </ul>	
さぐる ・見付ける	3 自分からあいさつができないかった理由とその解決方法を考える。  (1)グループごとに話し合う。  (2)発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の活動で決めた司会者を中心に話し合いを進めるよう伝える。</li> <li>・あいさつができないかった理由から、その解決策をグループごとに話し合うよう伝える。</li> <li>・あいさつの対象や動作などを選択してもらい、自主的な話し合いになるようにする</li> <li>・自己決定できるように、グループで話し合ったことを同じ内容ごとにまとめてるようする。</li> <li>・ヒントカードを渡し、考えが広がるようにする。</li> <li>・解決方法を考えることが、気持ちのよいあいさつへとつながる</li> <li>・解決方法で考えたあいさつを実際にやってもらう。ことを知らせる。</li> <li>・話し合ったことを発表ボードに書き、自己決定するときの参考になるように黒板に掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分からあいさつができない理由について考えている。 (思考・判断・実践) (観察・発表)</li> <li>・気持ちのよいあいさつについて考えている。 (思考・判断・実践) (観察・発表)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒントカード</li> <li>・発表ボード</li> </ul>	27
決め	5 これから実践することをカードに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれに、どのようになど具体的に実践することが分か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことから自分で実行でき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりカード</li> </ul>	10

る	書く。 (1)個人目標を書く (2)友達の個人目標を聞く。	るようなカードを作成する のように助言する。 ・個人目標が定まらない児童には友達の個人目標を参考 にするように伝える。	そうなあいさつの 仕方を選び、決定 している。 (思考・ <u>判断</u> ・実践) (発表・カード)	
---	-------------------------------------	--	--	--

### (3)事後指導

- ・一週間、自己決定したことを実践し、あいさつをしたときの相手の様子や、自分が変わったところなど、「がんばりカード」に記録するように伝える。
- ・実践後の気持ちを話し合い、自分から進んであいさつができるような態度を育てる。

## 第3学年 組 学級活動(2)学習指導案

指導者

### 1 題材 たがいのよさの発見

### 2 児童の実態と題材設定の理由

3年生は学校生活にも慣れ、活動範囲も広がっていく。その一方で小集団をつくり、その小集団で過ごすことが多くなる段階である。本学級においても、約7つの集団があり、休み時間には同じ集団の友達と遊んでいる。誰もがどこかの小集団に所属しており、一人で過ごす児童はない。小集団は、住んでいる地区が同じだったり、同じ遊びを好んだりすることで構成されていることが多いようである。

そこで、自分の交友関係を知り、いろいろな友達とかかわりをもち、互いの違いを認め合い、さらに友達と仲良くしようとする態度を育てたいと考える。そのため、学校生活の交友関係について振り返り、交友関係に偏りがあることに気付き、互いの違いを感じた経験を発表し、話し合う。そして、互いの違いを認めることで、よさを見付ける気持ちをもち、これから友達とのかかわり方について考えを深め、交友関係の幅が広がることを願い、本題材を設定した。なお、本題材を決定するにあたって、小学校指導要領解説特別活動編(平成20年8月)の『(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全』の内容について関連、統合を図る指導内容を精選し、全体として学級活動の指導の重点化を図ることが必要になる。」ことから、学級活動(2)の共通事項「ア 希望や目標をもって生きる態度の育成」と「ウ 望ましい人間関係の形成」の統合を図り、友達が書いたカードから、自分のよさについて気付き、自己の理解を深め個性の伸長を図れるようにしたいと考える。

### 3 学級活動(2)の評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	自己の生活上の問題に関心を持ち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
児童指のす姿	自分の交友関係に関心を持ち、よりよい交友関係を築こうとしている。	互いの違いについて話し合い、違いを認め合い友達と過ごしていくようにしている。	互いの違いを認め、友達や自分のよさについてを理解している。

### 4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事	・題材について知る。	朝の会	・普段かかわりの少ない友	・自分の交友関係に関心

前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよいところを見付ける。</li> <li>・グループでの話合いがあることを伝え、グループの中で司会者を決めておくように伝える。</li> </ul>	昼休み	<p>達のよいところを、カードに記入するように伝えれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な話合いになるよう司会者を決めておき、話合いの進め方を確認する。</li> </ul>	<p>を持っている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>[アンケート・よいところカード]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践)</li> </ul>
本時	<p>本時の展開 参照</p> <p>※問題意識を持つ話合い活動</p> <p>問題の状況を明らかにする話合い活動</p> <p>解決方法を出し合う話合い活動</p>			
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決めたことについて実践する。</li> <li>・実践したことを振り返り、話し合う。</li> </ul> <p>※実践意欲の継続化を図る話合い活動</p>	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よいところ発見シート」に実施したことや自分の感想を記録するように伝える。</li> <li>・以前の自分と変わったところを話し合うように伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の決めたことについて努力している。 (思考・判断・実践)</li> <li>・観察・よいところ発見シート】</li> <li>・実践したことを振り返り、友達のよさについて理解している。 (思考・判断・実践)</li> <li>・観察・発表】</li> </ul>

## 5 本時な活動

### (1) 本時の活動ねらい

自分の交友関係を振り返り、互いの違いを認め合うことについて話し合い、互いの違いを認めたり、友達や自分のよさを見付けたりすることができるようになる。

## (2) 本時の展開

※太字は自己決定へつなげる話し合い活動

さぐる・見付ける	<p>2 互いの違いを感じた経験を発表し合う。</p> <p>3 互いの違いについて話し合う。</p> <p>(1)次の場面を設定して話し合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と遊びを決める時に互いの意見が違った</li> </ul> <p>(2)グループごとに話し合う――問題の状況意識を明らかにする話し合い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解決方法を出し合う話し合い活動</li> </ul> <p>(3)発表し合う。</p> <p>4 友達によいところを書いてもらつたカードをそれぞれに渡す。</p> <p>(1)思ったことをワークシートに書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの違いを感じた時の気持ちも発表してもらう。</li> <li>・事前の活動で決まった司会者を中心に話合いを進めるように伝える</li> <li>・ねらいに沿った話し合いができるように場面を設定する。</li> <li>・互いの違いを感じた時、どのようなことを思ったかを互いに伝え合うよう助言する。</li> <li>・互いに違いを感じた時どうに対応すればよいかまで話し合うよう助言する。</li> <li>・遊びをきめる場面以外の様々な場面で、互いの違いを感じた時のことまで話し合いを広げるようにする。</li> <li>・対応策を考えることで社会的スキルを身に付けることにつなげるようする。</li> <li>・自己決定するときの参考になるように、グループで話し合ったことを発表ボードに記入することを伝える。</li> <li>・事前の活動で書いたカードを全員に渡せるように配慮する</li> <li>・友達によいところを書いてもらったカードを読むことで、自分のよさに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの違いについて考えている。 (思考・判断・実践) (発表・観察)</li> <li>・発表ボード</li> <li>・異なる意見となつたときの対応策を考えている。 (思考・判断・実践) (発表・観察)</li> <li>・友達のよさや自分のよさについて理解している。 (知識・理解) [カード・観察]</li> </ul>	20 8
決める	<p>5 これから実践することをカードに書く。</p> <p>(1)個人目標を書く。</p> <p>(2)友達の個人目標を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな時にどのようなことをするなど具体的な実践となるような自己目標にするよう助言する。</li> <li>・個人目標が定まらない児童には友達の個人目標を参考にするように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよいところを見付けようと/orしている。 (思考・判断・実践) (発表・よいところ発見シート)</li> </ul>	10

### (3)事後指導

- ・一週間、自己決定したことを実践し、実践したことや感想を「よいところ発見シート」に記録するように伝える。
- ・実践後の気持を互いに話し合い、友達と仲よくしようとする態度を育てる。

## 第3学年組 学級活動(2)学習指導案

指導者

### 1 題材 わたしたちにできること

### 2 児童の実態と題材設定の理由

本校では、アルミ缶回収や落ち葉掃きなどのボランティア活動を児童会活動の取組の一つとして行っている。学年が上がるにつれ、このようなボランティア活動に参加する児童が増えている。ただ本学級の中で、アルミ缶回収などに参加している児童は3人ほどにとどまっているのが実態である。参加児童の少ない原因是、「ボランティア活動は高学年になってからやること」、「自分たちはやってもらう側」と捉えている児童が多く、ボランティア活動についての理解が不十分であると考えられる。

そこで、第3学年の発達の段階を踏まえて、校内でできるボランティア活動について関心をもたせ、その実践について考えていきたい。具体的には、高学年が行っているボランティア活動の様子などから、校内でのボランティア活動の様子を知り、ボランティア活動をなぜ、行っているのか考える。そして、自分たちではどんなボランティア活動ができるか、話し合い活動をし、計画を立てて実践する。みんなで行うボランティア活動を体験することで、働くことの意義を理解するとともに、学校のために貢献する態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

### 3 学級活動(2)の評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
児童指のす姿	なぜ、ボランティア活動を行うのか、ということを考え、自分から進んでボランティア活動に取り組もうとしている。	ボランティア活動の内容を考え、活動内容を話し合い、決めたことを実践している。	ボランティア活動を通して働くことの意義、学校のために貢献していることを理解している。

### 4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	・高学年が行っているボランティア活動の様子を見て、ボランティア活動に	学級活動	・高学年が行っているボランティア活動、これまでに参加したことがあるボ	・ボランティア活動について関心をもつてい

	について知る。  ・どんなボランティア活動を実践したいか考える。	昼休み	ランティア活動を振り返り、ボランティア活動について説明する。  ・ワークシートを回収し、どんなボランティア活動を行いたいか、いくつか提案されたボランティア活動の内容を教室内の学活コーナーに掲示し、意欲を高めるようにする。	(関心・意欲・態度)  〔実態調査〕  ・活動の内容を考えている。  (関心・意欲・態度)  〔ワークシート・観察〕
本時	本時の展開  ※問題意識を持つ話し合い活動  自分の考えを持つ話し合い活動  解決方法を出し合う話し合い活動			
事後	・決めたことについて実践する。  ・実践した後の気持ちを互いに話し合う。  ※実践意欲の継続化を図る 話し合い活動	学級活動 各清掃 場所 教室	・友達と協力して、活動するように伝える。  ・実践後の気持ちを互いに話し合うことで、学校のために働くことの意義やよさに気付くようになる。  ・またボランティア活動をしたいという気持ちを高める。	・自分の決めたことを実践している。  (思考・判断・実践)  〔観察〕  ・活動を振り返り、働くことの意義、学校に貢献していることが理解している。  (知識・理解)  〔観察・活動後の発表〕

## 5 本時な活動

### (1)本時のねらい

これまでのボランティア活動や高学年が行っているボランティア活動から、ボランティア活動について理解し、ボランティア活動を行う場所、活動内容、分担などを決め、決めたことを実践しようとする気持ちをもつことができるようとする。

### (2)本時の展開

※太字は自己決定へとつなげる話し合い活動

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法	資料	時間
つかむ	1 これから行う、ボランティア活動に向けて計画を立てることを知る。  (1)高学年によるボラ	・事前で説明したボランティア活動について思い出させるようにして、これからの活動に関心をもたせるようにする。	・ボランティア活動に関心をもつている。  (関心・意欲・態度)  〔観察・アンケート〕	・実態調査	8

	<p>ンティア活動の様子の映像を見る。</p> <p>(2)アンケート結果やボランティア活動の映像から気が付いたことを話し合う。 「問題意識を持つ話し合い活動」</p> <p>2 なぜボランティア活動をするのか考える。</p> <p>(1)発表し合う。 「自分の考えを持つ話し合い活動」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考となる場面で映像を止め、活動の内容を説明しながら映像を見るようとする。</li> <li>自分の考えをワークシートに書き、自分の考えをきちんともって話し合いに臨むようする。</li> <li>発表から、自分から進んで行動したい、誰かのため、学校のために貢献したいという思いを引き出すようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動について理解している。 (知識・理解) 〔観察・発表〕</li> </ul>	ワークシート
さぐる	<p>3 ボランティア活動で行いたいことを発表し合い、活動内容を決める。</p> <p>(1)ボランティア活動の内容を決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜその内容を考えたのか理由も考え、友達に伝えるように助言する。</li> <li>みんなでできるボランティア活動の内容をひとつにしほり、みんなボランティア活動に取り組むようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容について考えている。 (思考・判断・実践) (観察)</li> </ul>	27
見付ける	<p>4 ボランティア活動の活動内容について考える。</p> <p>(1)グループについて考える。</p> <p>(2)活動方法について考える。</p> <p>「解決方法を出し合う話し合い活動」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を行う理由をもとに、活動内容を考えるように助言する。</li> <li>一人一人の活動内容、時間について、「分担カード」にまとめ活動内容の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容について考えている。 (思考・判断・実践) (観察・分担カード)</li> </ul>	・分担カード

決 め る	5 これから実践することをカードに書く、互いに伝え合う。 (1)ワークシートに書く。 (2)発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践すること、実践に向かう思いをワークシートに書くように伝える。</li> <li>実践後の感想を同じワークシートに書くことを伝えておく。</li> <li>実践することを伝え合うことで、実践に向けての意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったことから、実践することを決めている。 (思考・判断・<u>実践</u>) (発表・ワークシート)</li> </ul>	・ワークシート 10

### (3)事後指導

- 学級活動の時間に実践して振り返りをする。
- 今後も「ボランティア活動を行いたい」という気持ちをもたせるようにする。

### 第3学年組 学級活動(2)学習指導案

指導者

#### 1 題材 本のならび方

#### 2 児童の実態と題材設定の理由

本校では、家庭における親子読書を奨励しており、保護者とともに読書活動を行っている。

本学級でも朝の読書タイム、休み時間などを利用して読書活動を行っている。学校図書館の利用頻度は週に2～3回が14人と最も多く、学校図書館を利用していない児童も6人いることが分かった。また、学校図書館を利用して困ったこととして「読みたい本が見つからない」という意見があった。特に3年生になってからは、国語科や総合的な学習の時間の調べ学習などで、学校図書館を利用する機会が増えてきた。しかし、数多い本の中から、調べ学習などで自分が必要とする本を探すことは児童にとって難しい様子が見られた。

そこで、NDC（日本十進分類法）の知識を理解し、本が内容ごとに分類されて配置されていることに関心をもち、自分が必要とする本を自力で探そうとする態度を育てたいと考える。そのために、学校図書館はどうしてこのように本を分類して配置しているのかを話し合い、これから学校図書館の利用の仕方、本の探し方について理解ができるようにと考え、本題材を決定した。

#### 3 学級活動(2)の評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	自己の生活上の問題に関心をもち、意欲的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
児童指のす姿	本には分類の仕方があることに関心をもち、分類法を活用して本を探そうとしている。	分類して本が配置されている理由について話し合い、学校図書館の利用の仕方を考え、本を借りている。	学校図書館の中は、内容ごとに本が分類されていることを理解している。

#### 4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	・題材について知る。 ・学校図書館をどのくらい利用しているのか、どのような時に利用しているのか意識をもつ。	朝の読書タイム	・どのような時に、どのくらい利用しているのかアンケートを実施したり、題材について事前に予告することで、学校図書館	・学校図書館について関心をもっている (関心・意欲・態度) 〔実態調査〕

			の利用についての意識をもたせるようにする。	
本時	本時の展開  ※問題意識を持つ話し合い活動  問題の状況を明らかにする話し合い活動			
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>二週間実践し、振り返りをする。</li> </ul> <p><b>※実践意欲の継続化を図る話し合い活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おすすめの一冊」を紹介する。</li> <li>学級文庫の本を並べ直す。</li> </ul>	読書タイム・ 休み時間・昼 休み時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の変容に気付いたことや友達からみた自分の変容について話し合う。</li> <li>「おすすめの一冊」カードを作成し、本のある場所、感想とともにN D C（日本10進分類法）分類番号も友達に紹介する。</li> <li>学校図書館の本の並べ方を参考に、学級文庫の本の並べ方を工夫できるように、助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の決めたことを実践している。 (思考・判断・実践) 〔観察〕</li> <li>学校図書館の本は内容ごとに分類されていることを理解している。 (知識・理解) 〔観察・活動後の発表〕</li> </ul>

## 5 本時の展開

### (1) 本時のねらい

学校図書館の本がN D C（日本十進分類法）によって分類されていることを理解し、N D C（日本十進分類法）を活用して、学校図書館を利用することができるようになる。

### (2) 本時の展開

※太字は自己決定へとつなげる話し合い活動

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法	資料	時間
つかむ	<p><b>1 学校図書館を活用していく、調べ学習などで困った経験を発表し合う。</b></p> <p>「問題意識を持つ話し合い活動」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本の並び方等を実際に確認できるように、学校図書館で授業を行う。</li> <li>調べ学習などで本を探したときの苦労などから、発表するように助言する。</li> <li>本学級でも、同じ経験をしたことがある人がいることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の利用について関心をもっている。 (関心・意欲・態度) 〔発表・観察〕</li> </ul>	・実態調査	8

さぐる	2 司書教諭から分類法についての話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に、司書教諭とNDC（日本十進分類法）の百の位の部分までの説明にすることを確認しておく。</li> <li>NDC（日本十進分類法）のラベルを実際に確認したり、分類法を使って本の配置がされていたりしていることを確認するように伝える。</li> <li>司書教諭の話から、学校図書館には様々な分野の本があることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NDC（日本十進分類法）について理解している。 (知識・理解)</li> </ul> <p>[観察]</p>	・ NDC（日本十進分類法）の説明資料	27
見付ける	3 なぜ、分類法が使われて本が並んでいるのか話し合う。 「問題の状況を明らかにする話し合い活動」	<ul style="list-style-type: none"> <li>本を借りる側、貸す側の立場から考えてみるように助言する。</li> <li>NDC（日本十進分類法）は、どこの図書館でも活用されていることを伝える。</li> <li>NDC（日本十進分類法）を手がかりに、本を探すことができる事を実感させる。</li> <li>自分の好きな分野のNDC（日本十進分類法）番号を覚えて、本を選ぶ時に活用できるように伝える。</li> <li>司書教諭の話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類法がある理由について、考えている。 (思考・判断・実践)</li> </ul> <p>[観察・発表]</p>		
決める	4 これからの学校図書館の利用について決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>分類法が使われている理由について話し合ったことから、これからの学校図書館の利用の仕方についてを決める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったことから、実践することを決めている。 (思考・判断・実践)</li> </ul> <p>(発表・読書カード)</p>	・ 読書カード	10

ように助言する。

### (3) 事後指導

- ・自己決定したことを実践しているか振り返りをする。
- ・「おすすめの一冊」を友達に紹介するときには、紹介文とともにNDC（日本十進分類法）番号も紹介するようとする。
- ・学級文庫の本を並べ直したいという気持ちをもたせ、分類して並べるようにする。

### 第3学年組 学級活動(2)学習指導案

指導者

#### 1 題材 かぜの予防

#### 2 児童の実態と題材設定の理由

第3学期の1月は、年間の中でもかぜで欠席する児童が多くなり、年度によってはインフルエンザの流行によって学級閉鎖になることもある。そのため、お茶によるうがいやバランスのよい食事、十分な睡眠を取るように保健だよりで呼びかけたり、学校や学級の看護目標にしたりしている。

本学級でも、うがいや手洗い、教室内の換気等に気を付け、週予定表などでは、かぜの予防を家庭にも呼びかけている。しかし、児童自らうがい手洗いをしたり、教室の窓を開けて換気をしている児童の姿は少なく、さらにアンケート調査の結果から、かぜの予防に関心をもっていない児童もいることが分かった。これらのことから、呼びかけだけではかぜの予防に対する意識が不十分であることが分かった。

そこで、かぜにかかる原因を理解し、毎日の生活習慣の中でかぜの予防に心がけ、自らかぜにかかる健康な体をつくろうとする態度を育てたいと考える。その手立てとして、ワークシートを活用して、自分の生活習慣を見直し、そこからかぜの原因を探るようにする。さらに話合い活動を通して、かぜの予防を考える。話合い活動では、児童それぞれが見付けた生活習慣におけるかぜの原因から、かぜの予防について友達とともに考え、拡大したワークシートに記入する。その際に教師は、「さぐる」の段階で理解したかぜをひいてしまう仕組みをもとに、ウイルスが体の中に入らないようにするためにどうしたらよいかを意識させ、生活習慣の様々な場面において、具体的なかぜの予防を考えさせるようにする。そして、もう一度、自分の生活習慣を見直すことで、がぜの原因となりそうな場面でかぜの予防を決めることができると考えた。さらに、養護教諭の協力を得ることで、かぜについての理解を深め、健康な体をつくることや毎日実践することが、かぜの予防につながることを児童に気付かせていきたい。これらのことから、自分で毎日実践できるめあてを自己決定し、かぜにかかる健康な体をつくる態度を育てるとともに、この時期だけではなく一年間を通して健康なつくる態度を持てるような児童を育てたいと考え、本題材を設定した。

#### 3 学級活動(2)の評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活への知識・理解
評価規準	自己の日常の生活上の問題に関心をもち、よりよい生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために、日常の生活や学習の問題について、自分に合ったよりよい解決方法を考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
児童指のす姿	かぜをひかないように、自分の生活習慣を見直し、かぜの原因となりそうなことを見つけ、かぜを予防しようとしている。	かぜをひかないように、生活習慣から、かぜの原因やかぜの予防を考え、自分に合ったかぜの予防を自己決定し、毎日実践している。	かぜをひいてしまう原因を見つけたことから、毎日の生活の中でかぜの予防に取り組むことができることを理解している。

#### 4 活動の指導の見通し

話し合い活動	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前問題	・題材について知る。	朝の会 昼休み	・保健係にアンケート結果の提示をしてもらうために保	・かぜの予防について関心をもってい

意識を持つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>かぜをひかないように気を付けていることについて話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>健係と打合せをする。</li> <li>かぜによる欠席人数を調べる。</li> <li>養護教諭とかぜの原因などについて打合わせをする。</li> </ul>	る。 ( <u>関心・意欲・態度</u> ) 〔実態調査・話合い活動〕
本時	本時の展開			
事後 実践意欲の継続化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>かぜを予防するためのめあてを実践する。</li> <li>実践した後の気持ちを発表し合う。</li> </ul>	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードに書いためあてを守れるように、励まし指導する。</li> <li>実践後の気持ちを互いに発表することで、かぜの予防の大切さに気付くようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の決めたことを実践している。 (<u>思考・判断・実践</u>) 〔観察〕</li> <li>実践したことについて話合い、毎日の生活の中でかぜの予防に取り組むことができることを理解している。 (<u>知識・理解</u>) 〔観察・活動後発表〕</li> </ul>

## 5 本時の展開

### (1)本時のねらい

かぜの原因やかぜの予防について話合い、毎日の生活の中でかぜの予防をすることを理解し、めあてを立て実践しようとする気持ちをもつことができるようとする。

### (2)本時の展開

※太字は自己決定へとつなげる話合い活動

※話合い活動；教師の发問、児童の反応については別紙へ表記

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法	活動	資料
つかむ 5	<p>1 かぜによる欠席人 数が多いことやかぜ による欠席人数が多 い月について知る。</p> <p>2 「かぜは万病のも と」について説明を 聞く。</p> <p><b>問題意識を持つ話 合い活動</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健係が資料やグラフを提示することで、みんなで考えていく意識をもたせる。</li> <li>欠席理由や欠席人数が多い月をクイズ方式で出題し、かぜによる欠席者が多いことやかぜによる欠席人数が多い月を知らせる。</li> <li>かぜをひいて辛い経験をした児童の話を聞く。</li> <li>かぜのウイルスやかぜをひく過程を写真や絵を活用して説明することで、ウイルスを体の中に入れないようにすることを意識させる。</li> <li>かぜはあらゆる病気を引き起こす原因となることを養護教諭から伝えてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席状況やかぜをひく仕組みについて関心をもっている。 (<u>関心・意欲・態度</u>) 〔観察・発表〕</li> </ul>	1	実態調査
				2	かぜのウイルスの写真 かぜをひく過程を表した絵

さぐる 10	3 自分の生活習慣を見直し、かぜの原因となりそうなことをワークシートに書く。  10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用して、自分の生活習慣の中でかぜの原因となりそうなことを見付けるようにする。</li> <li>・生活習慣の①学校②食事（給食）③風呂④外遊び⑤勉強、テレビ、ゲーム⑥睡眠としキーワードとして黒板に掲示しここでのかぜの原因となりそうなことを助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活習慣を見直し、かぜの原因を見付けている。 (思考・判断・実践) [ワークシート・発表]</li> </ul>	3 3	ワークシートキーワードを表したカード
見付ける 25	<p>解決方法を出し合う話し合い活動</p> <p>4 かぜの予防についてグループごとに話し合う。</p> <p>(1)グループごとにかぜの予防について話し合い、拡大したワークシートにかぜの予防についてまとめたこと書く。</p> <p>(2)グループごとにかぜの予防を発表する。</p> <p>(3)自分の生活習慣の中でかぜの原因となることを確認する。</p> <p>5 養護教諭の話を聞く。(約10分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生活習慣で、かぜの原因があることに気付かせるために、3~4人のグループで話し合い活動をする。</li> <li>・それぞれが考えたかぜの原因をもとに、かぜの予防法を話し合う。</li> <li>・話し合ったかぜの予防について、拡大したワークシートにまとめる。</li> <li>・自己決定しやすいように拡大したワークシートを黒板に掲示する。</li> <li>・かぜの予防を話し合う際に、生活習慣の中でかぜのウイルスが体に入りやすいのはどこなのかを意識させるために、「つかむ」段階での、養護教諭の話を思い出させたり、ウイルスの写真を見せたりする。</li> <li>・友達とともに考えたかぜの予防（解決方法）の決め方で、次は自分で実践するかぜの予防を決めるなどを伝える。</li> <li>・かぜの予防（解決方法）を自己決定するために、自分のワークシートに、『ここでかぜの予防をしたい』、『ここから先は絶対にウイルスを入れない！』と思う生活習慣を○で囲むように伝える。</li> <li>・グループによる話し合い活動を称賛する。</li> <li>・養護教諭から、かぜの予防（睡眠、栄養、休養）や健康な体について話を聞く。</li> <li>・インフルエンザについて説明してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活習慣を見直し、かぜの予防について考えている。 (思考・判断・実践) [ワークシート・話し合い活動・発表]</li> </ul>	4	拡大したワークシート

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日続けることが大切であることを伝える。</li> </ul>		
決める 5	6 これから実践することをカードに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことから、自分に合ったかぜの予防を自己決定するように話す。</li> <li>・「ウイルスに勝つ」を意識して、かぜの予防について自己決定するように伝える。</li> <li>・自己決定したことが本当に実践できそうなのか見直すよう助言する。</li> </ul>	6	ワークシート（「これでウイルスに勝つぞ！」）

### (3)事後指導

- ・一週間、自己決定したことを実践し「かぜ予防カード」に記入する。
- ・「かぜ予防カード」に記入したことを保護者に確認してもらうようにする。
- ・実践後の気持ちを互いに話し合い、毎日の生活の中でかぜの予防をができることに気付かせる。

# アンケート

- 1 題材「気持ちのよいあいさつ」
- 2 題材「たがいのよさの発見」
- 3 題材「わたしたちにできること」
- 4 題材「本のならび方」
- 5 題材「かぜの予防」

## あいさつにかんするアンケート

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

あいさつについてしつ問をします。しつ間に答えましょう。

1 自分のあいさつのしかたをふり返ってみましょう。ひとつ, ○をつけましょう。

### ○ 友達へのあいさつ

- ア 自分から進んであいさつしている。
- イ 友達があいさつをしてから, あいさつする。
- ウ あいさつしようと思っても, あいさつできていない。
- エ あいさつしていない。



### ○ 家族へのあいさつ

- ア 自分から進んであいさつしている。
- イ 家族があいさつをしてから, あいさつする。
- ウ あいさつしようと思っても, あいさつできていない。
- エ あいさつしていない。

### ○ 地いきのかたへのあいさつ

- ア 自分から進んであいさつしている。
- イ 地いきのかたがあいさつをしてから, あいさつする。
- ウ あいさつしようと思っても, あいさつできていない。
- エ あいさつしていない。



### ○ 友達, 家族, 地いきのかたへのあいさつのしつ問で

ウやエをえらんだ人は理由も書いてください。

○ 先生へのあいさつ

- ア 自分から進んであいさつしている。
- イ 先生があいさつをしてから、あいさつする。
- ウ あいさつしようと思っても、あいさつできていない。
- エ あいさつしていない。

ウやエをえらんだ人は理由も書いてください。



2 あいさつするときに気を付けていますか。気を付けていることすべてに○をつけましょう。

- ア 大きな声であいさつする。      イ  あい手の目を見てあいさつする。
- ウ  あい手より先にあいさつする。    エ  気を付けていることはない。
- オ  その他

( )

3 あいさつについて思うことをじゅうに書いてください。

A large, empty, rounded rectangular box designed for children to write their responses to the third question.

アンケートに答えてくれてありがとう。

# 友達にかんするアンケート

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

友達についてしつ問をします。しつ間に答えましょう。

1 クラスの中に、遊んだり、おしゃべりをしたりする友達がいますか。ひとつ、○をつけましょう。

- ア いる (6人～10人)
- イ 少しいる (4人～5人)
- ウ あまりいない (2人～3人)
- エ いない



2 いつも遊んだり、おしゃべりをしたりする友達はどんな友達ですか。○をつけましょ。いくつづけてもいいです。

- ア 住んでいる地区が同じ、家が近所。
- イ 同じクラスになったことがある。
- ウ しゅみが同じ。
- エ せいかくがにている。
- オ その他



3 いつも遊んでいる友達いがいの友達と、もっとなかよくなりたいですか。ひとつ、○をつけましょう。○をつけたりゆうも書いてください。

- ア なかよくなりたい。
- イ 少しなかよくなりたい。
- ウ あまりなかよくなりたくない。
- エ なかよくなりたくない。

- ○をつけたりゆうを書いてください。

A large, empty rectangular box with rounded corners, intended for the student to write their answer to question 3.

# ボランティア活動にかんするアンケート

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

ボランティア活動についてしつ問をします。しつ間に答えましょう。

1 今までに,どんなボランティア活動にさんかしたことありますか。さんかしたことのあるものすべてに○をつけましょう。

- |                 |                           |
|-----------------|---------------------------|
| ア あいさつ運動        | イ セいそう活動(学校,地いきどちらでもいいです) |
| ウ アルミかんかいしゅう    | エ ペットボトルキヤップかいしゅう         |
| オ 縁のはね,赤いはね共同ぼ金 | カ 東日本大しん災にたいする活動          |
| キ ユニセフぼ金        | ク その他 ( )                 |
| ヶ さんかしたことがない。   |                           |

2 わたしたちがボランティア活動を行うとしたら,校内でどんなボランティア活動ができますか。考えたボランティア活動を□に書きましょう。



# 学校図書館にかんするアンケート

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

学校図書館についてしつ問をします。しつ問に答えましょう。

- 1 学校図書館を、授業以外でどれぐらい利用していますか。  
○をひとつつけましょう。



ほぼ毎日      週に2~3回      月に2~3回      ほとんど利用しない

- 2 学校図書館は、授業以外ではどんなときに、利用しますか。  
○をつけましょう。いくつ、つけてもいいです。

ア 読みたい本があるとき      イ 何もすることがないとき

ウ 雨で外で遊べないとき

エ その他 ( )

- 3 読みたい本がなかなか見つからない時、どうしますか。○をつけましょう。いくつ、つけてもいいです。

ア 友達に聞く

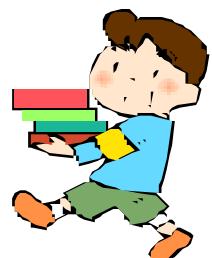
イ 司書の先生に聞く

ウ 図書いいんに聞く

エ 自分でさがす

オ あきらめる

カ その他



- 4 学校図書館を利用して、こまつたことがありますか。○をつけましょう。いくつ、つけてもいいです。

ア 読みたい本が見つからない

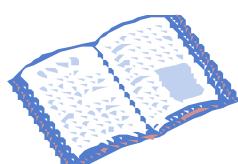
イ 新しい本がない

ウ まわりがうるさい

エ 本を読む時間が少ない

オ 本をたくさん借りてしまい読みきれなかつた

カ 今まで、ありません



## かぜにかんするアンケート

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

かぜについてしつ問をします。しつ間に答えましょう。

- 1 たんにんの先生や古宇田先生、家族の方から「かぜをひかないように気を付けましょう。」とお話があると思います。日ごろから(冬休みもふくめ)かぜをひかないように気を付けていましたか。

アからウの中で、自分の考えに近いものひとつに○をつけましょう。また、イ、ウに○をついた人は、なぜ○をつけたのか理由を□の中に書きましょう。

ア かぜをひかないように、気を付けていた。

イ かぜをひかないように、気を付けていたけどかぜのよぼうはしていない。

ウ かぜをひかないように、気を付けていない。



なぜ、イ、ウに○をつけた  
のですか。理由を書きましょう。

- 2 かぜをひく原いんは、どんなことだと思いますか。○をつけましょう。いくつづてもいいです。

ア うがい、手洗いをしなかった。 イ すいみん不足だった。

ウ 運動不足だった。 エ すき、きらいして、給食などをのこしていた。

オ 寒いのにうすぎをしていた。 カ 人が多いところで、マスクをしていなかった。

キ その他



- 3 かぜをひかないために、あなたは日ごろからどんなことに気をつけていますか。○をつけましょう。いくつづてもいいです。

ア うがい、手洗いをする。 イ すいみんをとる。

ウ 運動をする。 エ すき、きらいせず給食などのこさず食べる。

オ あせをかいたらすぐふく。 カ マスクをする。

キ その他



# 気持ちのよいあいさつ

3年 組 名前

グラフやビデオから、友達のあいさつの様子と自分のあいさつの様子をくらべて思ったことを書きましょう。

自分からあいさつができなかった理由を考えてみましょう。

どのようなあいさつがいいか考えてみましょう。

話合い活動の中で「この考えはいいな」と思った友達の考えを書きましょう。

ぼく、わたしは、これから

(あいさつについて考えたことを書きましょう。)

○だれに対して

○どのようなあいさつをしますか。



# あいさつがんばりカード

3年 組 名前

## ○ 気持ちのよいあいさつに向けてのめあて

○だれに対して

○どのようなあいさつをしますか。

## ○ ふり返ってみましょう。 自分で決めたこと、実行できたかな。

よくできた○ できた○ できなかった△を記入しよう。



日付					
決めたこと、できましたか?					
友達からからのメッセージ					

## 家族の方から

お子さんの様子をお聞かせください。

## 実行した感想を書きましょう。

できるようになったこと、がんばったことを書きましょう。

# よいとこう発見シート

3年 組 名前

「よいとこカード」をもらって思ったことを書きましょう。

今日のじゅぎょうで分かったこと

(友達のことについて考えたこと書きましょう。)

ふり返ってみましょう。  
自分で決めたこと、実行できたかな。



・よくできた○ できた○ できなかった△ を記入しよう

日付							
決めたこと できましたか?							

実行した感想を書きましょう。

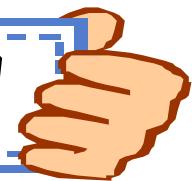
A large, empty rectangular box with rounded corners, designed for children to write their thoughts and feelings about the execution of their decisions.

よいとこカード

わたしはあなたのかわいいところ、すてきなところを発見しました！



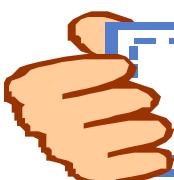
さんのかわいい！



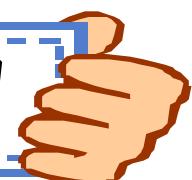
よい

よいとこカード

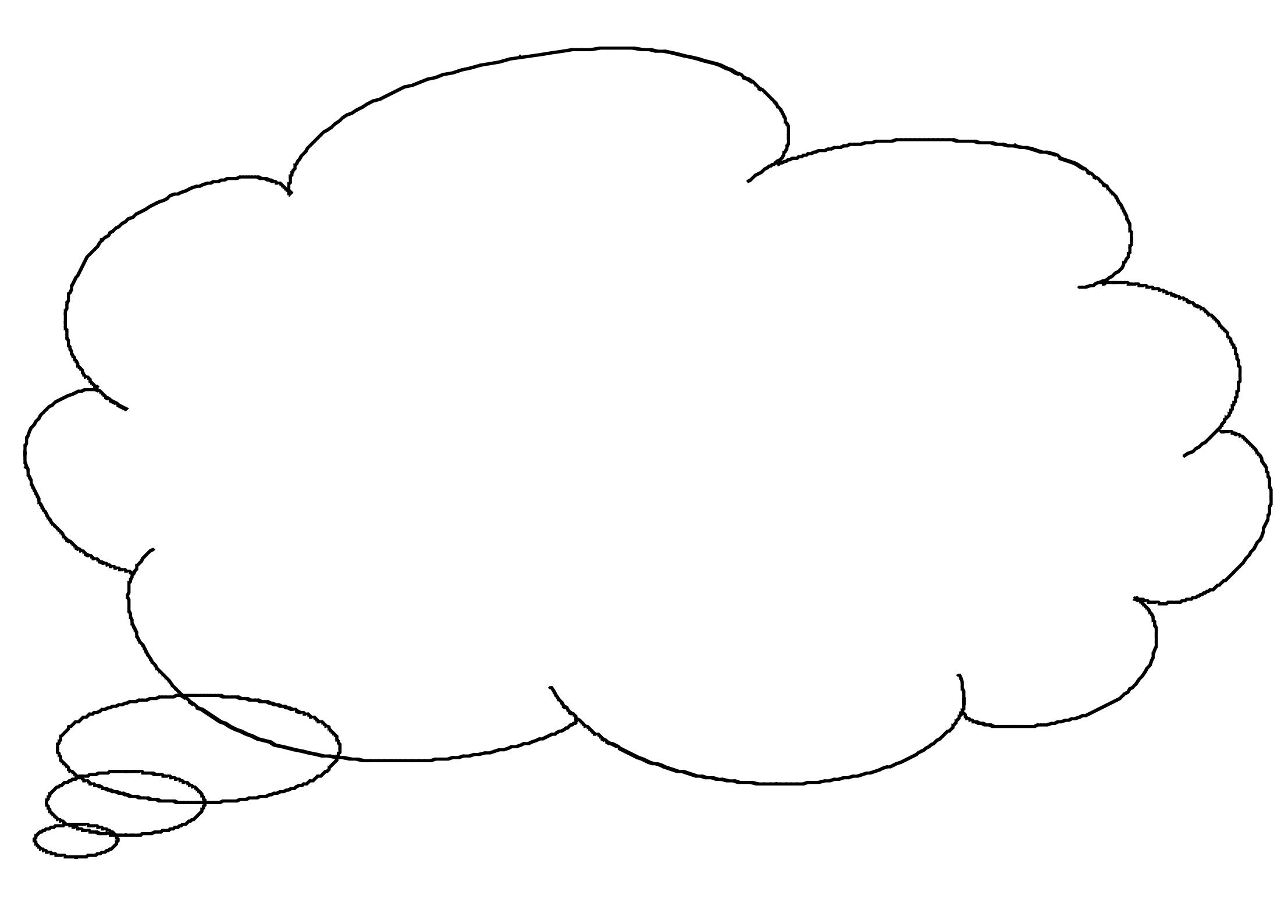
わたしはあなたのかわいいところ、すてきなところを発見しました！



さんのかわいい！



よい



# わたしたちにできること

3年 組 名前

ボランティア活動について、アンケートのけっかやビデオを見て、思ったことを書きましょう。



なぜ、ボランティア活動をするのでしょうか。自分の考えを書きましょう。



話し合い活動の中で「この考えはいいな」と思った友達の考えを書きましょう。

ぼく、わたしは、これから

(ボランティア活動に向けて考えたことを書きましょう。)



# わたしたちにできること

3年 組 名前

- ボランティア活動に向けてのめあて

- ふり返ってみましょう。  
自分で決めたこと、実行できたかな。



- 実行した感想を書きましょう。

- めあてを立てて、ボランティア活動を行った気持ちを書きましょう。
- 友達ときょう力して、ボランティア活動を行った気持ちを書きましょう。
- ボランティア活動について、どんなことを考えましたか。

## わたしたちにできること

3年 組 名前

- ### ○ ボランティア活動をしよう。

# 場所

はん

- # ○ はんのめあて



- ## ○ 活動分たん表

# 本のならび方

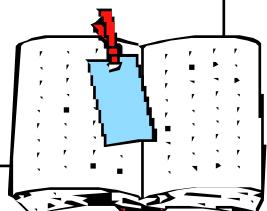
3年 組 名前

アンケートのけっかをみて、思ったことを書きましょう。

なぜ、分るい法が使われているのでしょうか。自分の考えを書きましょう。

話し合い活動の中で「この考えはいいな」と思った友達の考えを書きましょう。

ぼく、わたしは、これから (図書館の使い方に向けて考えたことを書きましょう。)

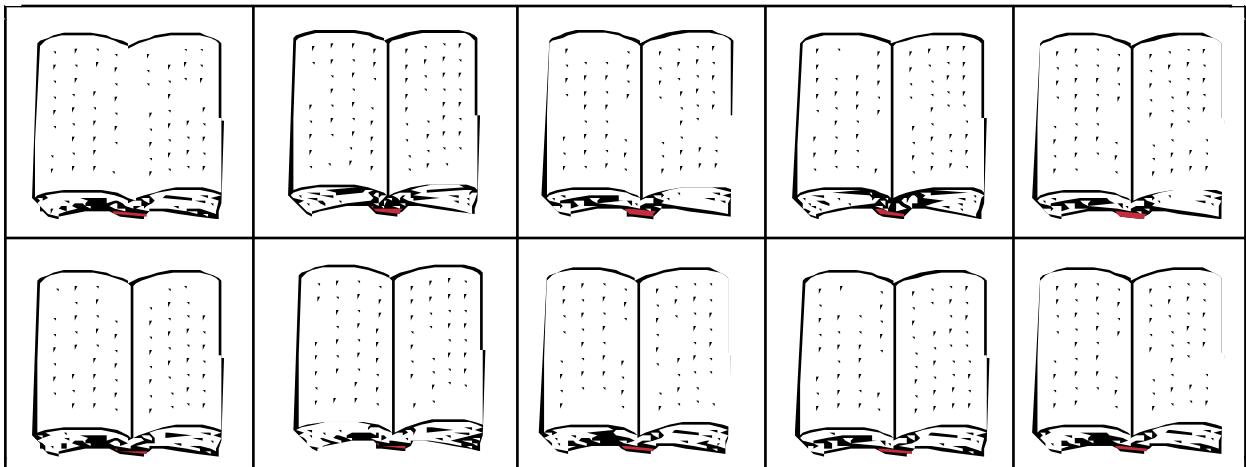


# 本のならび方

3年 組 名前

- 図書館の使い方について決めたこと

- ふり返ってみましょ。自分で決めたこと、実行できたかな。



実行した感想を書きましょ。

自分がかわったなと思うことも書きましょ。

# かぜのよぼう

3年 組 名前

かぜにかかり、つらい思いをしたことを書きましょう。

かぜにかかるないためにはどんなことに気をつけたらよいか  
考えてみましょう。

話合い活動の中で「この考えはいいな」と思った友達の考えを  
書きましょう。

かぜをひかないようになると！ウイルスに勝つぞ！

○いつ

○かぜのよぼう（ウイルスに勝つ方ほう）



# かぜよぼうカード

3年 組 名前

## ○ かぜよぼうに向けてのめあて

○いつ

○どのようなことをしますか。

## ○ ふり返ってみましょう。 自分で決めたこと、実行できたかな。

よくできた○ できた○ できなかった△を記入しよう。



日付					
決めたこと、で きましたか？					
友達から のメッセージ					

## 家族の方から

お子さんの様子をお聞かせください。

## 実行した感想を書きましょう。

めあてに向けて続けたこと、がんばったことを書きましょう。

( )の一日 自分の生活の様子をふりかえりましょう。		かぜの原因となりそうなことは、どんなことですか？
<b>朝</b> 	あなたの①学校②食事(給食)③ふろ④外遊び⑤勉強、テレビ、ゲーム⑥すいみん はどこですか？	ウイルスが体に入ってきたのはどんな時でしたか？思い出してみましょう。
<b>6時</b>	-----	
<b>7時</b>	-----	
<b>8時</b>	-----	
<b>9時</b>	-----	
<b>10時</b>	-----	
<b>11時</b>	-----	
<b>12時</b>	-----	
<b>1時</b>	-----	
<b>2時</b>	-----	
<b>3時</b>	-----	
<b>4時</b>	-----	
<b>5時</b>	-----	
<b>6時</b>	-----	
<b>7時</b>	-----	
<b>8時</b>	-----	
<b>9時</b>	-----	
<b>10時</b>	-----	

**夜**